

第 67 期 事 業 報 告 書

当年度の事業概要を次の通り報告いたします。

(2017年6月1日より2018年5月31日まで)

1. 自然科学関連知識の普及及び啓蒙

- 「サイエンスカフェ」（金高堂書店共催）を開催した。
 - ・2017年6月17日（土）、「高知の地層から読む地球環境変動と化石生物の暮らし」、講師：奈良正和氏（高知大学教授）、於高知市金高堂書店・旧本店特設会場
- 「自然科学書協会講演会」は第68期以内での開催に向けて、講師、講演内容、開催日時・場所等を準備・検討する。

2. 自然科学関連図書等の国内外への広報及び普及

- 文字・活字文化推進機構等の活動に協調し、日本書籍出版協会（以下書協）をはじめとする出版界各団体が主催する諸事業に協力した。
- 「自然科学書フェア2017」を開催した。
 - ・期日：前期 2017年5月27日（土）～6月22日（木）
後期 2017年6月24日（土）～7月23日（日）
 - ・会場：前期 金高堂書店本店
後期 金高堂書店朝倉ブックセンター
 - ・テーマ：「知識がひろがる 未来がひらける 自然科学書1000点フェア」
 - ・参加社数：40社
 - ・出展点数：1,118点
 - ・売上：188点・442,113円
- 「自然科学書フェア2018」を開催した。
 - ・期日：2018年5月12日（土）～6月30日（土）
 - ・会場：ジュンク堂書店那覇店
 - ・テーマ：「知識がひろがる 未来がひらける 自然科学書フェア」
 - ・参加社数：47社
 - ・出展点数：1,298点
 - ・出品冊数：3,915冊
- 東京国際ブックフェアは休止が決定した。その代替イベントについて検討するブックフェア委員会（書協内）の編成に伴い、委員を登録した。
- 海外のブックフェアに出展し、会員社の出版物の普及を図った。
 - ・「第24回北京国際図書展示会」（BIBF2017）
1社10冊まで1冊1,000円の出品補助金を出し、普及促進を図った。今回より出品のない会員社の目録をブース内に陳列・配布を行った。BIBF日本事務局（トー

ハン) より 2 ブースが提供され、全点面陳で展示した。版權の問合せが 5 件あった。

- ・期日：2017 年 8 月 23 日 (水) ～27 日 (日)
 - ・会場：中国新国際展覽センター
 - ・参加社数：16 社
 - ・出品冊数：158 冊
- ・「第 69 回フランクフルトブックフェア」(FBF2017)

出版文化国際交流会の当協会・大学出版部協会の共同ブースに出品した。

- ・期日：2017 年 10 月 11 日 (水) ～15 日 (日)
- ・会場：フランクフルトメッセ
- ・参加社数：16 社
- ・出品点数：40 点

○英文会員名簿並びに和文会員名簿を、ブックフェアなどを通じて国内外の出版社などに配布し、協会活動の周知と翻訳出版活動への情報を提供した。

3. 著作権・著作隣接権等の普及と啓発

○著作権の保護並びに著作物の適正利用を推進する活動を行った。

- ・教育に係る著作権法第 35 条の改正に備えて、その法律運用について協議を行う「教育利用における著作権等管理協議会」が設立され、参加した。
- ・「教育利用における著作権等管理協議会」の開催に伴い書協主催の会議に参加した。
- ・改正著作権法第 35 条の運用に関して、利用者 (大学教授) の団体である「大学学習資源コンソーシアム」と会合を行った。

○その他、著作権に関連した活動を行った。

- ・出版者著作権管理機構 (JCOPY) の構成団体の一員として運営に協力した。

4. 自然科学の振興に功績のあった者及び自然科学書出版に特に貢献をした者の顕彰

○文部科学大臣表彰科学技術賞の推薦団体として会員社から当該表彰候補を募ったが、応募がなかったため推薦を見送った。

5. 出版文化向上のための研究会・講演会等の開催及び関連団体との交流

○東京都印刷工業組合出版メディア協議会主催の「第 20 回出版・印刷人の集い」に出版梓会と共に協賛し、講演会を開催した。

- ・日時：2017 年 11 月 21 日 (火)、16:00～17:30
- ・会場：日本出版会館
- ・講師：星野 渉 氏 (株式会社文化通信社 常務取締役)
- ・演題：「アマゾン・アメリカ最新事情」

○当協会主催で、下記の研修会を開催した。

- ・日時：2017年12月7日（木）、16：30～17：30
- ・会場：日本出版会館
- ・講師：池田 和弥 氏（株式会社図書館流通センター 仕入部部长）
- ・演題：「図書館流通を知ろう！」
- ・参加者：32社・57名

- ・日時：2018年5月17日（木）、16：00～17：00
- ・会場：日本出版クラブ会館
- ・講師：平木 啓太 氏（株式会社丸善ジュンク堂書店 システム開発室室長）
- ・演題：「POSDATA うれ太の紹介」
-自然科学書の回転率向上につながるデータ活用法-
- ・参加者：24社・30名

6. 機関紙・図書等の編集発行及びホームページの管理運営

○会報を年4回発行した（2017年7月、12月、2018年1月、5月）。

・主な記事は次の通り。

理事会の動向や決定の周知／各委員会の活動報告／自然科学各分野の著名人によるエッセイ／講演会の要約／国際ブックフェアの報告など

・自然科学知識の普及、活動の告知、会員増強などのために会報を日本出版クラブ会館ロビーなどで展示配布した。合わせて、各出版関連団体へも送付した。

○ホームページを常に最新の状態にして、外部への情報発信を行った。

- ・協会の概要を掲載し、常に更新した。
- ・会報のPDF版を掲載した。

7. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

○消費税の出版物への軽減税率適用に関する取り組みの中で、書協を中心とした活動を支援しながら、有害図書排除の仕組みを理解して、軽減税率適用を推し進める。なお、出版物への定価表示問題、定期刊行物の移行措置問題等、継続課題も含めてそれらの動きを注視していく。

○出版界で行う諸事業（全出版人大会の開催、出版平和堂の活動など）に協力した。

- ・2018年5月8日（火）に、第57回全出版人大会がホテルニューオータニで開催され協賛団体として協力した。
- ・2017年10月6日（金）に、出版平和堂第49回出版功労者顕彰会が執り行われ、出版平和堂維持団体として運営に協力した。

○今期の活動状況を業界紙等に報道依頼し、活動並びに存在意義を広く告知した。

以 上

事業報告附属明細書

該当なし